学校番号	209

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「　生　物　」　（東京書籍株式会社）						
副教材等	新課程　ニューアチーブ　生物　（東京書籍株式会社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書を読み、教材プリントを使って予習や復習をする習慣をつける。授業では、説明を聞き、話した内容を書き留める習慣をつける。また、授業内容を復習し、次回の小テストに向けて学習することで内容を繰り返し反復する。問題集を解いて理解を深めること。グループ学習やペアワークなどに積極的に参加すること。

本教科書は非常に難しい内容に踏み込んでいるが、授業の中でサポートしていくのでわからない部分は質問すること。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生物についての知識、実験技術が習得できている。
【思考力、判断力、表現力等】
グループ学習で積極的に取り組み、現象や実験結果から考察することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
新たな課題や目標設定を行うことができ、課題を解決することができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物や生命現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身につけている。	生命現象についてなぜそのようになっているのかを考える。実験の結果から考察し、表現する。	日常生活や自然界との関連を学習しながら生物や生命現象の関係に関心を持ち、意欲的に取り組もうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	代謝	代謝とエネルギー 呼吸と発酵 光合成 窒素同化 DNA の構造と複製 遺伝情報の発現	a:代謝について、分子レベルでの知識を理解できる。 DNA の複製､遺伝子の解読や遺伝子の発現と調節についての知識を理解できる。 b:光合成色素、呼吸基質の	定期試験 小テスト 実験	定期試験 小テスト 実験 グループワーク レポート	プリント 小テスト レポート グループワーク 実験

	遺伝現象の発現	遺伝子の発現調節 バイオテクノロジー	実験において、結果から考察を導き出すことが出来る。DNA の複製、遺伝子の解読や遺伝子の発現と調節について、実験結果を元に考察できる。 c:実験に意欲的に取り組むことができる。			
2	生殖と発生 動物の環境応答	遺伝子と染色体 減数分裂と遺伝情報の分配 遺伝子の多様な組み合わせ 動物の配偶子形成と受精 初期発生の過程 細胞の分化と形態形成 植物の発生 ニューロンとその興奮 刺激の受容 情報の統合 刺激への反応 動物の行動	a: 生殖と発生について知識を理解できる。刺激を受容してから反応するまでのしくみやそれぞれの器官について理解する。動物の行動について理解する。 b:遺伝子の組み合わせや配偶子形成について結果を元に考察できる。脳や眼の解剖の実験結果を元に考察できる。神経の伝達や動物の行動について考え説明することが出来る。 c: 実験に意欲的に取り組むことができる。	定期試験 小テスト 実験	定期試験 小テスト 実験 グループワーク レポート	プリント 小テスト レポート グループワーク 実験
3	植物の環境応答	植物の反応 成長の調節 花芽形成と発芽の調節	a: 植物の環境応答について知識を理解できる。 b:植物の反応や花芽形成について、想定される結果を元に考察できる。 c:植物の反応の観察や記録を意欲的に取り組むことができる。	定期試験 小テスト	定期試験 小テスト 実験 グループワーク レポート	プリント 小テスト レポート グループワーク 実験

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度